

<白金標準、重要鉱物の関税発表まで高値追いが続く・・・>



(出所：オアシス)

重要鉱物の関税発動に伴いパブリックコメントが先月 29 日に終了し、10 月中には重要鉱物の関税発動が示される可能性が高まっている。特 2022 年にプラチナとパラジウムは重要鉱物の指定を受けており、シティはロシア制裁の動きも高くなっておりパラジウムに対して関税を課す可能性が高いと予測を示している。

特に関税に備えて依然とロンドン市場のプラチナリースレートは、1 ヶ月物で 15%を維持し、NY マーカントイル取引所のプラチナ指定倉庫の在庫量は 20 トンまで増加するなど、関税に備える動きを続けている。

そのため NY 白金は中心限月の移行もあり、1600 ドルを固める動きを続けている事から、目先の高値 1655 ドルを超える可能性は強まっている。

特に自民党総裁に女性初の高市氏が当選し、為替市場は 149 円台の円安、日経平均は 2000 円高の動きを見せるなどリスクオンの動きを強めており、白金標準先物は円安に株高が重なり、上場来の期先高値 7491 円を超える可能性は強まっており、安易な売り狙いは避けた方が良くと思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇し、**シグナル**も上昇している。また RCI では**短期**が**長期**を上回り、**短期**と**長期**が横ばいするなど強気を維持していると思え、高値追いが継続中に思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,955,000 円(2025 年 10 月 6 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 89,760 円(2025 年 10 月 6 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>